



5月

No. 1

### 5月8日（水）～年長 サッカーで遊ぼう～

緑の芝生の上で、ランニング・準備運動・ゲーム的な遊び・試合形式…と、体を動かして遊ぶこと・サッカーをすることを楽しみました。原田コーチも、毎回、どんなことをしたら、体を動かすことの気持ちよさを感じてもらえるか…・サッカーの面白さを感じてもらえるか…と、考え、工夫してくださっています。幼稚園でも子どもたちが体験を通して、何を感じ、何を学んでいるのか等、改めて見つめ直し、さらに、より良い活動にしていきたいと考えています。



### 5月8日（水）～年長 消防任命式～

幼年消防クラブの任命式を園内で行いました。消防署からいただいた任命証とシールを子どもたちに託しました。“ちびっこ消防士”として、防火に努めること・子どもだけでは火を使わないこと等を確認しました。法被を着て、敬礼をする姿からは、“ちびっこ消防士”としての自覚があふれていました。9月には、消防自動車のお絵かき会が行われ、11月には、展示会が開かれますので、楽しみに。まずは、火を出さないことが大切なことです。ぜひ、家庭でも防火について、話題に取り上げてください。



### 5月9日（木）～年長 タマネギ収穫～

年少のときに苗を植えたタマネギが大きくなり、みんなで収穫しました。子どもの握りこぶしよりも大きいタマネギもあれば、丁度こぶしくらいのタマネギも…。でも、子どもたちにとっては、どれも自分たちが育てた大切な可愛いタマネギで、収穫するたびに歓声が上がっていました。

収穫したタマネギを見て、「カレーを作ろう!」と、作る気満々になっていました。年少のときに、年長さんにごちそうしてもらったことをしっかり覚えていて、今度は自分たちが作る番だと、年長としての自覚をしっかりともっているようです。6月のカレーパーティーが、今から楽しみです!

年少さんも途中から、年長の収穫の様子を見ていました。大きなタマネギにびっくりしていました。年長さんへのあこがれ・年長になったらできるという期待へとつながったようです。



### 5月10日（金）～年少 夏野菜の苗植え～

年少児が夏野菜の苗植えに挑戦しました。ナス・ピーマン・ミニトマト・オクラを植え、水やりの様子を見て、最後に“大きくな～れパワー”をみんなで送りました。これからお世話をしながら、いろんな不思議や発見に出会ってくれるといいな…と、思います。





## 5月10日（金）～シャボン玉で遊ぼう～

5月のさわやかな青空のもと、『この指とまれ』の皆さんが来てくださり、シャボン玉を楽しむことができました。シャボン玉がキラキラ輝きながら、青空高く上がっていく様子や小さなシャボン玉がたくさんできる様子を歓声を上げる子どもたちでした。誰一人として手を止めることなく、繰り返し繰り返し楽しみ、気が付けば30分もの時間、集中して取り組んでいました。

最初にシャボン液に泡が立たないように静かに道具を入れて…と、説明された時には、言葉として捉えての「はい、わかりました。」という感じでしたが、遊ぶ中で、シャボン液に泡がたくさんできると膨らみにくくなることを実感し、静かに入れるようになったり、「泡をとってください。」と、自分から『この指とまれ』さんをお願いする姿が見られました。また、最初はガムシャラに道具（うちわの骨）を振り回し、シャボン玉を作っていたのが、道具を正面に持ち、ゆっくり歩いたほうが大きいシャボン玉ができることに気づき、使い分ける姿も見られました。

子どもたちにとっては、楽しい遊びで、学んでいるとは思ってもいないと思いますが、幼児期の子どもにとって、遊びを通しての実体験は宝物であり、小学校以降の学びへと確実に繋がっているものであることを、子どもたちの姿から、改めて実感しました。これからも、よりよい環境を整え、子どもたちにたくさんの体験ができるようにしていきたいです。



**おまけ…！** 素敵なものを『この指とまれ』の中村様からいただきました。それは“カブトムシの幼虫”！水槽の中には、十数匹の幼虫が…。腐葉土を入れ替えながら、お世話をし、うまく成虫になってくれるといいな…と、思います。キングョ・メダカ・カメのココちゃん、そして、カブトムシ！みんなでお世話をしていきます！



## ～年長 ヒマワリの種蒔き～

年長児がヒマワリの種を蒔きました。一つは自分の鉢に蒔きました。そしてもう一つはプランターにみんなで蒔きました。プランターに蒔いたのは、『はるかひまわり』です。1995年1月17日の阪神淡路大震災で犠牲になった加藤はるかさん（当時11歳）。その年の夏、はるかさんが亡くなった場所に一輪の大きなヒマワリが咲いたそうです。生前にはるかさんが可愛がっていた隣の家のオウムの餌だったそうです。その後、その場所にたくさんのヒマワリが咲き、その種を集め、『はるかひまわり』と名付け、毎年、絶えることなく植え続けているそうです。『はるかひまわり絆プロジェクト』は、『はるかひまわり』を全国で生育し、咲かせる過程で、災害や命の尊さを再考する機会とし、自らの元気を取り戻す、自己再生や復興。また、身近な家族や友人を思いやる中で再生や復興。さらに地元故郷の再生復興へと拡がることを願っているそうです。そんな願いがこもった『はるかひまわり』を地域の方からいただきました。みんなで世話しながら、大きく育ち、花が咲くことを願っています。



幼稚園の玄関にツバメがやってきました。行ったり来たりしながら巣を固め、中にはヒナがいるのかな…?! 保護者の皆様も使用する玄関ですので、しばらくの間、糞の心配等、ご迷惑をお掛けしますが、温かく見守ってあげてください。